

特集 「きょうとおもしろめっせ」開催

京都の産業振興において、情報発信と交流の拠点として多くの人に親しまれてきた京都市勤業館「みやこめっせ」。利用者への謝恩と今後の利用促進を図ることなどを目的に、11月3日（土／祝）・4日（日）、同館で開設5周年記念イベント「きょうとおもしろめっせ」が開催されました。KVBCも後援したこのイベントは、多彩な催しが行われ、2日間で3万5,000人が来場されるという大変な賑わいようでした。

今回のイベント出展に関して、KVBC代表幹事の藤関氏、副代表幹事の日比氏・井上氏・河合氏よりコメントをいただきました。また、ものづくり研究会からは代表の大橋氏よりイベント参加の成果報告をお届けいたします。

正副代表幹事の皆さんの所感



みやこめっせ5周年記念事業に際して、出展並びにご参加いただき有難うございました。十二単や京料理などの伝統と歴史と、ロボットやエコカー・福祉（介護「ものづくり研究会：盲導犬ロボット」）など未来志向を融合したベンチャーの町、京都らしいすばらしい企画であったと思います。一般市民にどう映ったかは興味深いところです。

1200年もの歴史と伝統に裏付けられたノウハウに、新たな発想、斬新な技術の高い付加価値を付け、世界へ京都から発信していく、そのような担い手になるべく京都市ベンチャービジネスクラブへの期待をひしひしと感じた次第です。今後とも当クラブへのご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。（藤関）

京都の様々な分野が歴史や伝統を背景にしながら展示・紹介されていた中で、やはりベンチャー部門に大きなスポットが当たっていたと思う。京都では昔から学生を大事に見守る風土や、ベンチャーを育成する旦那衆の存在があった。そんな市民の理解がノーベル賞の受賞や立派な企業の誕生につながっていると考えられないでしょうか。現在ベンチャー企業と呼ばれている我々として、更なる自信と情熱をもって夢の実現に邁進しようと感じた次第です。（日比）

産業ブースに一般市民の方を集めることは、それなりの工夫が大切であることを痛感しました。バラエティーに富んだ展示は京都の上下、前後左右を表したものでした。「おもしろめっせ」というタイトルのようにたいへん面白い企画だったと思います。（井上）

2日間のために、何週間も前から準備をされていた方々に対して、感謝いたします。お蔭様でKVBCの企画広報担当として、満足感を感じています。また直接・間接にご協力いただいた方々に、重ねがさね感謝いたします。有難うございました。（河合）

きょうとおもしろめっせ出展顛末記

KVBCものづくり研究会 大橋正明



「ものづくり研究会」が、みやこめっせ開設5周年記念イベント「きょうとおもしろめっせ」に参加を決定したのは、実は2年以上も前の、一昨年5月ごろでした。きっかけは、元KVBC代表幹事で当研究会会員の（株）暁電機製作所・西河会長からの提案でした。その後、イベントの延期などがあり、やっと今回「ものづくり研究会」として、鋭意参加・出展することができました。

このイベントに先立ち、去る10月24日には、京都全日空ホテルでの京都異業種交流まつりにおいて、「KVBCものづくり研究会」の事例報告を行いました。このときに、ほぼ完成していたビデオや、プレゼンテーションをプレビューしました。

結論からいいますと、今回の出展は大成功であったと思います。「ものづくり研究会」は、このイベントへの参加を通して、大多数の会員の圧倒的な協力・創意が得られました。ここに、その成果を報告し、今後の糧としたいと思います。

1. 明確なテーマを決定して、それに沿って展開ができたこと

今回の出展テーマは、何度かの例会で討議の上「盲導犬にかわるロボットカー」とし、そのプロトタイプを製作しました。製作や検討ならびにビデオ撮りの過程を通して、ものづくりの本質の一部に迫れたのではないのでしょうか。

2. 会員間のみごとなチームワークが展開できたこと

今回のイベントは、多くの会員諸氏の労をいとわぬ協力が大きな決め手となりました。圧倒的多数の会員諸氏が何らかの形で参加・協力をいただいた事は、特筆すべきで、改めてここでお礼を申し上げます。

3. 展示会で多くの人集めが実現できたこと

「ものづくり研究会」のブースは、いつも熱心にビデオを見ながらアンケートに記入する市民でいっぱいでした。このアンケートに記入いただいた数はなんと500枚に迫ります。有用な意見も多く、大いに今後の参考にしたいと考えています。

最後になりますが、業務多忙の折から労をいとわぬご協力をいただいた皆様に、心から感謝を申し上げます。